



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月5日

上場会社名 株式会社 PALTEK
 コード番号 7587 URL <https://www.paltek.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢吹 尚秀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役オペレーショナルサービス ディビジョン本部長 (氏名) 井上 博樹
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 045-477-2000

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	21,830	△2.8	144	157.6	32	—	59	—
2019年12月期第3四半期	22,463	△1.7	56	△88.1	△16	—	△42	—

(注)包括利益 2020年12月期第3四半期 56百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 △44百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	円	円	円
2020年12月期第3四半期	5.39	—	—	—
2019年12月期第3四半期	△3.88	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	15,831	—	9,478	—	59.9	—
2019年12月期	16,069	—	9,531	—	59.3	—

(参考)自己資本 2020年12月期第3四半期 9,478百万円 2019年12月期 9,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	28,000	△7.9	120	△68.8	0	△100.0	60	△39.4	5.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期3Q	11,849,899 株	2019年12月期	11,849,899 株
2020年12月期3Q	895,882 株	2019年12月期	895,882 株
2020年12月期3Q	10,954,017 株	2019年12月期3Q	10,954,088 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付書類3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を受け、またインバウンド需要の消滅や外出自粛などの影響により宿泊・飲食サービスなど幅広い業種で大幅に悪化しましたが、国内においては感染者数が減少傾向となり、Go to トラベルなどの景気対策が行われるなど、経済活動は緩やかに再開されています。しかし、設備投資などはいまだ低調に推移しており、総じて企業収益などは厳しい状況が続いています。

当社グループが属するエレクトロニクス業界においては、海外での経済活動の再開などを受け自動車分野などでは復調の兆しもありますが、企業による設備投資については投資を控える動きが継続しています。

このような事業環境のなか、当社グループは以下のような取り組みを実施してまいりました。

(半導体事業での取り組み)

半導体事業においては、今後の成長が見込まれる5G関連の通信インフラ投資に伴い通信機器や計測機器向けの販売は上期において堅調に推移しました。その一方で、放送機器向けなどでは、新型コロナウイルス感染症の影響により設備投資に関して慎重な判断となり引き続き低調に推移しました。

(デザインサービス事業での取り組み)

デザインサービス事業においては、通信機器、産業機器、医療機器、航空/宇宙向けなどに設計受託およびODM(※1)を提供しました。新型コロナウイルスの影響により顧客での開発案件の延期や外部への委託の縮小などの影響が発生し、低調に推移しました。

(ソリューション事業での取り組み)

ソリューション事業においては、社会的な課題解決に沿うようなソリューションの開拓、展開を行っています。新型コロナウイルス感染症の影響でプロモーションを縮小せざるを得なくなる状況が続いていましたが、徐々に再開されつつあるリアルな展示会やオンライン展示会などへの出展などを行い、新規顧客開拓のためのプロモーションを実施しました。

(業績結果)

売上高は218億3千万円(前年同期比2.8%減)となりました。半導体事業については、通信機器向けのFPGA(※2)などが堅調に推移したものの、主要取引先において他代理店への顧客移管により売上高は減少したこと、放送機器向や医療機器向けの販売が低調に推移したことを受け、同事業の売上高は198億4千9百万円(前年同期比2.7%減)となりました。デザインサービス事業については、産業機器向けの設計受託案件が低調に推移したことにより、同事業の売上高は14億7百万円(前年同期比4.0%減)となりました。ソリューション事業については、紙梱包資材システムや空間除菌システムの販売は増加したものの、新規プロモーション縮小の影響で乳幼児見守りシステムや産業機器向けのIoTシステムなどの販売が減少したことにより、同事業の売上高は5億7千3百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

営業利益については、販売費及び一般管理費は若干増加したものの、仕入値引ドル建債権の評価額のマイナス幅が前年同期より縮小したことなどにより、1億4千4百万円(前年同期比157.6%増)となりました。

経常利益については、為替差損が7千2百万円発生したことなどにより3千2百万円(前年同期は1千6百万円の経常損失)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益については、2020年6月26日付での株式会社テクノロジー・イノベーションの解散による債権放棄に伴い、当社の個別の法人税計算上および貸倒損失の損金算入が可能となったため、5千9百万円(前年同期は4千2百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

(※1) ODM (Original Design Manufacturing) :

発注元企業のブランドで販売される製品を設計するだけでなく、製造も行うこと。

(※2) FPGA (Field Programmable Gate Array) :

PLD (Programmable Logic Device) の一種であり、設計者が手元で変更を行いながら論理回路をプログラミングできるLSIのこと

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億3千8百万円減少し158億3千1百万円となりました。これは主に商品、未収消費税等が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ1億8千5百万円減少し63億5千2百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したものの、未払金が減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ5千3百万円減少し94億7千8百万円となりました。これは主に配当金の支払いを実施したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億4千2百万円増加し、39億7千3百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益を3千2百万円計上したこと、および売上債権が減少した一方で、たな卸資産および未収消費税等が増加したこと等により、1億4百万円の支出（前第3四半期は4千4百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産および無形固定資産を取得したこと等により、3千4百万円の支出（前第3四半期は5千万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払いを実施した一方で、短期借入れを実施したこと等により、2億8千7百万円の収入（前第3四半期は7億5千7百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年11月5日（本日）に連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2020年11月5日（本日）に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の当社業績に対する影響について、以下のように考えております。

(新型コロナウイルス感染症の当社業績に対する影響について)

当社グループは、エレクトロニクス製品を開発しているメーカーに半導体や関連製品の販売、設計受託やODMの提供などを主要な事業としています。

新型コロナウイルス感染症がお客様の事業に影響を及ぼし、当社業績に対しても次のような影響が生じてくることが想定されます。

当社グループでは売上高の6割以上が産業機器関連のお客様になります。その分野によって影響の度合いは異なり、医療機器分野においては、エンドユーザーである医療機関の経営状態により投資状況に影響を受ける可能性があります。放送機器向けでは感染予防対策により各種イベントが開催されないことなどから設備投資に対して慎重になっていると想定されます。また、お客様によっても異なりますが、ファクトリーオートメーションや計測機器など設備投資に関連する分野についても影響が生じる可能性があると考えられます。加えて、お客様の業績が低調に推移する場合、設計開発の外部への委託案件が減少することも考えられ、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,831,632	3,973,705
受取手形及び売掛金	6,589,564	5,341,240
商品	2,915,556	3,345,347
前渡金	2,353	38,852
未収入金	952,318	771,434
未収消費税等	1,146,294	1,648,800
未収還付法人税等	19,335	22,235
その他	58,211	73,807
貸倒引当金	△1,482	△1,086
流動資産合計	15,513,783	15,214,337
固定資産		
有形固定資産	156,603	147,632
無形固定資産		
のれん	10,403	8,174
その他	34,204	41,222
無形固定資産合計	44,608	49,396
投資その他の資産		
その他	354,967	419,860
貸倒引当金	△130	△130
投資その他の資産合計	354,836	419,730
固定資産合計	556,048	616,759
資産合計	16,069,832	15,831,096
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	863,071	1,005,486
短期借入金	3,680,000	4,080,000
未払金	1,445,122	770,911
未払法人税等	41,030	3,090
賞与引当金	57,374	186,821
その他	231,850	84,566
流動負債合計	6,318,449	6,130,877
固定負債		
退職給付に係る負債	16,016	22,061
役員退職慰労引当金	157,500	157,500
その他	46,458	42,440
固定負債合計	219,975	222,002
負債合計	6,538,425	6,352,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,339,634	1,339,634
資本剰余金	2,698,556	2,698,556
利益剰余金	5,980,391	5,929,946
自己株式	△481,902	△481,902
株主資本合計	9,536,681	9,486,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249	34
繰延ヘッジ損益	△1,380	△1,056
為替換算調整勘定	△4,142	△6,997
その他の包括利益累計額合計	△5,273	△8,019
純資産合計	9,531,407	9,478,216
負債純資産合計	16,069,832	15,831,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	22,463,743	21,830,415
売上原価	19,912,777	19,181,216
売上総利益	2,550,966	2,649,199
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	978,274	1,019,114
貸倒引当金繰入額	△305	△395
賞与	107,478	115,409
賞与引当金繰入額	201,203	182,711
退職給付費用	△2,457	40,613
賃借料	121,441	119,359
のれん償却額	2,229	2,229
その他	1,086,990	1,025,610
販売費及び一般管理費合計	2,494,854	2,504,653
営業利益	56,111	144,545
営業外収益		
受取利息	870	447
受取配当金	80	40
消費税等還付加算金	3,174	2,089
受取手数料	888	—
補助金収入	—	16,751
受取保険金	8,563	5,457
消費税差額	—	10,040
その他	2,141	3,717
営業外収益合計	15,718	38,544
営業外費用		
支払利息	14,931	24,358
支払手数料	4,385	22,709
為替差損	27,732	72,413
売上債権売却損	33,746	24,583
その他	7,935	6,775
営業外費用合計	88,730	150,839
経常利益又は経常損失(△)	△16,899	32,250
特別利益		
固定資産売却益	489	571
特別利益合計	489	571
特別損失		
和解金	12,000	—
特別損失合計	12,000	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△28,410	32,821
法人税、住民税及び事業税	55,181	39,920
法人税等調整額	△41,079	△66,194
法人税等合計	14,101	△26,273
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△42,512	59,095
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,512	59,095

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△42,512	59,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△177	△215
繰延ヘッジ損益	447	323
為替換算調整勘定	△2,278	△2,854
その他の包括利益合計	△2,008	△2,745
四半期包括利益	△44,520	56,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44,520	56,349
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△28,410	32,821
減価償却費	31,712	35,674
のれん償却額	2,229	2,229
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△305	△395
賞与引当金の増減額(△は減少)	146,406	129,447
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△35,621	6,044
受取利息及び受取配当金	△950	△487
支払利息	14,931	24,358
為替差損益(△は益)	66,684	△8,801
有形固定資産売却損益(△は益)	△489	△571
補助金収入	—	△16,751
受取保険金	△8,563	△5,457
売上債権の増減額(△は増加)	△612,015	1,221,707
たな卸資産の増減額(△は増加)	△485,439	△452,563
仕入債務の増減額(△は減少)	457,881	182,241
未収消費税等の増減額(△は増加)	△26,993	△1,100,897
未収入金の増減額(△は増加)	697,366	176,452
前受金の増減額(△は減少)	△56,066	135
前渡金の増減額(△は増加)	39,113	△36,499
未払金の増減額(△は減少)	△40,714	△62,526
その他	△85,449	△141,038
小計	75,304	△14,877
利息及び配当金の受取額	950	487
利息の支払額	△14,930	△24,417
補助金の受取額	—	16,751
保険金の受取額	8,563	5,457
和解金の支払額	—	△16,148
法人税等の還付額	58,827	21,173
法人税等の支払額	△83,840	△92,656
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,876	△104,228
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,670	△18,090
有形固定資産の売却による収入	903	878
無形固定資産の取得による支出	△22,339	△17,039
貸付けによる支出	—	△450
貸付金の回収による収入	—	100
その他	△289	388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,396	△34,212
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	870,000	400,000
自己株式の取得による支出	△43	—
配当金の支払額	△109,424	△109,342
リース債務の返済による支出	△3,355	△3,074
財務活動によるキャッシュ・フロー	757,176	287,582
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,241	△7,068
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	766,898	142,072
現金及び現金同等物の期首残高	2,024,225	3,831,632
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,791,123	3,973,705

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。